



安全データシート

ISO 11014-1/ ANSI 基準 Z400.1-2004/ JIS Z 7253: 2012 に従って作成

改訂日: 12-6-2018

JIS 7253: 2012によれば、危険有害性の物質または混合物には安全データシート (SDS) を提供しなければならない。この製品は、この規格による分類基準を満たさない。したがって、この種の文書は規格の範囲外であり、各項目の要件は該当しない。

1. 化学物質/調剤および会社/企業情報

製品名: CAB-0-SIL™ TGC-191 Colloidal Silica
製品コード: TGC191
別名: 二酸化珪素、合成・非晶質シカ
推奨用途: その他、レオロジー制御、流動剤、トリボ帯電剤、濃縮剤、次のものに含まれる強化剤:、インクおよびトナー
使用制限: 該当せず
供給者:

| | |
|------------------------|---------------------------------|
| アジア太平洋地域本部 | 販売および共通サービスセンター |
| Cabot China Ltd | Cabot Specialty Chemicals, Inc. |
| 558 Shuangbai Road | 住友芝-大門ビル 11階 |
| Minhang District | 2-5-5 芝大門、港区 |
| Shanghai 201108, 中国 | 東京 105-0012 |
| 電話: +86 21 5175 8800 | 日本 |
| ファックス: +86 216434 5532 | 電話: 81-3-6820-0255 |
| | ファックス: 81-3-5425-4500 |

緊急連絡電話番号: 24時間年中無休で対応
日本(東京): CHEMTREC 03-4520-9637
国際化学品輸送緊急センター: +1 703-741-5970 または +1-703-527-3887
ドイツ: CHEMTREC 0800-181-7059
英国: CHEMTREC: (+44)-870-8200418
米国: 化学物質輸送災害対策センター: +1-703-527-3887 or 1-800-424-9300
中国: CHEMTREC 4001-204937

2. 危険有害性の要約

化学物質または混合物の分類

JIS Z 7253: 2012 により危険有害性でない。世界調和システム(GHS)による危険物質または混合物ではない。

ラベル要素

絵文字:
なし

注意喚起語:
なし

危険有害性情報:
なし

注意書き:

なし

他に分類できない危険有害性 (HNOC)

150° Cを超える温度に暴露してはならない。危険有害性燃焼生成物には一酸化炭素および二酸化炭素が含まれることがある。

健康に対する影響

主な暴露経路： 吸入，皮膚への接触，眼への接触

眼への接触： 機械的刺激を引き起こすおそれがある。眼との接触を避けること。

皮膚への接触： 機械的刺激および皮膚乾燥を引き起こすおそれがある。皮膚との接触を避けること。人における感作症例は報告されていない。

吸入： 粉じんは気道を刺激するおそれがある。粉じんの発生する可能性のある機械装置および場所には適切な排気式換気を設けること。セクション8も参照のこと。

経口摂取： 健康悪影響は予想されない。項目11を参照。

発がん性 IARC(国際がん研究機関)、NTP(国家毒性プログラム)、OSHA(労働安全衛生局)、ACGIH(米国産業衛生専門家会議)、EU(欧州連合)に記載のいかなる物質も0.1%を超えて含まない。項目11も参照のこと。

標的臓器影響： 肺，項目11を参照

暴露による医学的状態の悪化： 喘息，呼吸障害

可能性のある環境影響： 知見なし。項目12を参照。

3. 組成および成分情報

| 化学物質名 | CAS番号 | 重量% | ENCS - 日本の化審法の既存・新規化学物質 | 日本GHS分類 |
|---------------------|--------------|-----|-------------------------|-------------|
| トリエトキシオクチルシラン-修飾シリカ | NOT ASSIGNED | 100 | セクション 15 を参照 | セクション 2 を参照 |

その他の情報:

ハイフン(-)は「該当しない」を意味する

本材料は合成・非晶質シリカ(一般シリカ：CAS登録番号 7631-86-9)をオクチルトリエトキシラン(CAS登録番号 2943-75-1)で表面処理しています。

4. 応急措置**応急措置**

皮膚への接触 石鹸と水でよく洗うこと。症状が生じた場合には、医師の手当てを受けること。

眼への接触 直ちに多量の水で15分間眼を洗うこと。症状が生じた場合には、医師の手当てを受けること。

吸入 咳、息切れ、その他の呼吸異常が生じた場合には、新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師の手当てを受けること。必要な場合には、標準的

な応急処置法を用いて通常呼吸を回復させること。

経口摂取： 無理に吐かせないこと。意識があればコップ数杯の水を飲ませること。意識のない者には口から何も与えてはならない。

急性症状および遅発症状の最も重要な徴候症状および作用

症状： 最も重要な周知の症状および影響は、セクション2および / またはセクション11に記載されている。

直ちに行う手当ておよび必要とされる特別な治療の指示

医師に対する注意事項： 症状に応じた処置を行うこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：
現地状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。二酸化炭素 (CO₂)、泡、乾燥薬品、水。

使ってはならない消火剤：
なし。

化学物質から生じる特有の危険有害性：
なし。

危険有害性燃焼生成物：
一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素 (CO₂)。

消火を行う者のための保護具および注意事項：
適切な保護具を着用すること。火災時には、自給式呼吸装置を着用すること。

粉塵爆発の危険性：
該当せず。粉塵爆発を引き起こさない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

人体に対する注意事項： 粉じんの生成を避けること。十分な換気を確保すること。個人用保護具を使用すること。セクション8も参照のこと。

緊急時対応要員用： 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：

環境に対する注意事項： 可能なら、流出した製品を陸上で封じ込めること。多量の流出物を封じ込めることが不可能な場合には、現地の管轄当局に通報すること。

封じ込めおよび浄化の方法および器材

封じ込め方法： もし安全に行えるなら、それ以上の流出または漏洩を防ぐこと。

浄化方法： 直ちに掃除機で取り除くこと。高性能微粒子空気(HEPA)フィルターを備えた掃除機の使用が推奨される。ブラシまたは圧縮空気を使用して塵雲を発生させないこと。回収し、適切な表示の容器に移すこと。セクション13を参照のこと。

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全取扱注意事項

安全取扱注意事項： 皮膚および眼への接触を避けること。粉じんの生成を避けること。粉じんを吸い込まないこと。粉じんの発生する可能性のある機械装置および場所には適切な排気式換気を設けること。ブラシまたは圧縮空気を使用して塵雲を発生させないこと。

と。

静電放電に対する予防措置を講じること。混合装置および加工処理装置の全ての金属部分を接地しなければならない / アースをとらなければならない。輸送作業を開始する前に、全ての装置を確実に電氣的に接地させること / アースをとること。微細な粉じんは電気機器の内部に進入することがあり、電氣的なショートを引き起こすおそれがある。

一般的な衛生注意事項

優良産業衛生安全慣行に従って取り扱うこと。

混蝕禁止物質を含む、安全な保管条件**保管条件：**

容器を換気の良い乾燥した場所に密閉して保管すること。揮発性化学物質が製品に吸着されるおそれがあるので、それらと一緒に保管してはならない。周囲条件で保管すること。適切な表示のある容器に保管すること。

混蝕禁止物質：

知見なし。

8. ばく露防止および保護措置**暴露ガイドライン：**

以下の表は概要です。完全な情報については個別の法律を参照してください。

非晶質シリカ、暴露限界規制値については全形態のシリカに関する記載項目を参照、CAS登録番号 7631-86-9：

オーストラリア：2mg/m³、TWA、吸入性画分
オーストラリア MAK 4mg/m³、TWA、吸引性画分
フィンランド：5mg/m³
ドイツ TRGS 900：4mg/m³、TWA、吸引性画分
インド：10mg/m³、TWA
アイルランド：2.4mg/m³、TWA、吸入性粉じん
ノルウェー：1.5mg/m³、TWA、吸入性粉じん
スイス：4mg/m³、TWA
英国 WEL：6mg/m³、TWA、吸引性画分
mg/m³、TWA、吸入性画分
米国 OSHA PEL：6mg/m³ (54 FR2701)

粉じん、または粒子、特に明記する場合を除く：

ベルギー：10mg/m³、TWA、吸引性
3mg/m³、TWA、吸入性

中国：8mg/m³、TWA
mg/m³、STEL

フランス：10mg/m³、TWA 吸引性粉じん
mg/m³、TWA 吸入性粉じん

イタリア：10mg/m³、TWA、吸引性
mg/m³、TWA、吸入性

マレーシア：10mg/m³、TWA、吸引性
mg/m³、TWA、吸入性

スペイン：10mg/m³、VLA、吸引性
3mg/m³、VLA、吸入性

米国 ACGIH - PNOS：10mg/m³、TWA、吸引性
mg/m³、TWA、吸入性

米国 OSHA-PEL：15mg/m³、TWA、総粉じん
mg/m³、TWA、吸入性

注記事項：

Cabot Corporation は世界中の施設において、シリカをドイツ TRGS 900 による職業性暴露限界である 4 mg/m³、TWA、吸引性画分に管理しています

MAK : Maximale Arbeitsplatzkonzentration (暴露許容濃度)
 PEL : Permissible Exposure Limit (許容暴露限界)
 PNOS : 他に規定されていない限り粒子状
 STEL : Short Term Exposure Limit (短時間暴露限界)
 TRGS : Technische Regeln für Gefahrstoffe (ドイツ危険有害物質に関する技術規則)
 TWA : Time Weighted Average (時間加重平均)
 US ACGIH : United States American Conference of Governmental Industrial Hygienists (米国産業衛生専門家会議)
 US OSHA : United States Occupational Safety and Health Administration (米国労働安全衛生局)
 VLA : Valore Limite Ambientale (環境限界値)
 WEL : 作業環境濃度

設備対策： 確実に十分な換気を行って暴露を職業性限度未満に維持すること。機械装置、および粉じんが生成する可能性のある場所に適切な局所排気装置を設けること。

個人用保護具[PPE]

呼吸器の保護： 局所排気装置では不十分な場合には、承認を受けた呼吸マスクが必要になる。

手の保護： 皮膚乾燥を防止するために保護手袋を着用すること。製品の取扱い前に、皮膚保護クリームを使用すること。手および他の暴露した皮膚を刺激の少ない石鹸と水で洗うこと。

眼/顔の保護： 眼 / 顔面保護具を着用すること。サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚および身体の保護具： 保護服を着用すること。衣類を毎日洗濯すること。作業着は、作業場所以外で着用しないこと。

その他： 優良産業衛生安全慣行に従って取り扱うこと。緊急用洗眼設備および安全シャワーをすぐ近くに設けなければならない。

環境への暴露防止： 粉塵に適用される現地の全ての法規制および許認可要件に従っている。

9. 物理的および化学的性質

示されている情報は、この製品および類似製品から得られたデータに基づく。

| | | | |
|-------------------|---------------------------|-----------------------|------------|
| 物理的状态： | 固体 | 臭い： | なし |
| 外観： | 粉末 | 臭いのしきい値： | 該当せず |
| 色： | 白色 | | |
| 特性 | 値 | 備考 | 方法： |
| pH： | | 情報なし | |
| 融点/凝固点： | 1700 °C | NIOSH 化学的危険有害性ポケットガイド | |
| 沸点/沸点範囲： | 2230 °C | NIOSH 化学的危険有害性ポケットガイド | |
| 蒸発速度： | | 該当せず | |
| 蒸気圧： | | 該当せず | |
| 蒸気濃度： | | 該当せず | |
| 密度： | 2.2-2.3 g/cm ³ | @ 20 °C | |
| かさ密度： | <18 lbs/ft ³ | ASTM D1513 | |
| 20 °Cにおける比重： | 2.2-2.3 | 情報なし | |
| 水への溶解度： | | 情報なし | |
| 溶解度： | | 情報なし | |
| 分配係数(n-オクタノール/水)： | | 該当せず | |
| 分解温度： | | 情報なし | |
| 粘性： | | 該当せず | |
| 動粘性率： | | 該当せず | |
| 動的粘度： | | 該当せず | |
| 酸化特性： | | 酸化性でない | |
| 軟化点： | | 該当せず | |
| VOC含有率(%)： | | 該当せず | |

| | |
|--|------|
| % 揮発量 (体積比): | 該当せず |
| % 揮発分 (重量比): | 該当せず |
| 表面張力: | 該当せず |
| 爆発特性: | 非爆発性 |
| 引火点: | 該当せず |
| 燃焼性(固体、気体) | 情報なし |
| 空気中での可燃限界 | 情報なし |
| 空気中における爆発限界-上限(g/m ³): | 情報なし |
| 空気中における爆発限界-下限(g/m ³): | 情報なし |
| 自然発火温度: | 情報なし |
| 最低着火温度: | 情報なし |
| 最低着火エネルギー: | 情報なし |
| 着火エネルギー: | 情報なし |
| 最大爆発絶対圧: | 該当せず |
| 最大圧力上昇速度: | 該当せず |
| 燃焼速度: | 情報なし |
| Kst値: | 該当せず |
| 粉じん爆発区分: | 該当せず |
| 物質の固有特性に基づき、エンドポイントには「該当せず」と記載されている 「利用可能な情報なし」は試験が行われていないことを示す | |

10. 安定性および反応性

| | |
|--------------|--|
| 反応性: | 反応性でない。 |
| 安定性: | 推奨される取扱条件および保管条件下では安定。DTA-210° Cにおける示差熱分析(空気中における発熱量)。 |
| 爆発データ | セクション9も参照のこと。 |
| 機械的衝撃に対する感度: | なし。 |
| 静電放電に対する感度: | この物質は、粉塵爆発の原因となる支持条件も、火災の原因となる支持条件も発生させない。静電放電に対する予防措置を講じること。混合装置および加工処理装置の全ての金属部分を接地しなければならない / アースをとらなければならない。輸送作業を開始する前に、全ての装置を確実に電氣的に接地させること / アースをとること。 |
| 危険有害性反応の可能性: | 通常のプロセス下ではない。 |
| 危険有害な重合: | 危険有害な重合は起こらない。 |
| 避けるべき条件: | 150° Cを超える温度に暴露してはならない。熱および着火源から離して保管すること。粉じんの生成を避けること。 |
| 混蝕禁止物質: | 知見なし。 |
| 危険有害な分解生成物: | 一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素 (CO ₂)。 |

11. 有害性情報

与えられた情報は、類似物質から得られたデータに基づきます。。

急性毒性

| | |
|----------|-----------------------|
| 経口 LD50: | 製品自体についてのデータはない。 |
| 吸入 LC50: | 製品の物理的特性のため、適切な検査法はない |

| | |
|------------------|---|
| 皮膚 LD50: | 製品自体についてのデータはない |
| 皮膚腐食性および皮膚刺激性: | 処理済み合成非晶質シリカ: 一次刺激性評点 = 0.0 @ 24 hr. 刺激物に分類されない (OECD 404) |
| 眼に対する重篤な損傷性眼刺激性: | 処理済み合成非晶質シリカ: ウサギの研究においては刺激物に分類されない (OECD 405)。高濃度の粉塵は機械的刺激を引き起こすおそれがある。 |
| 感作: | 情報なし。 |
| 変異原性: | 処理済み合成非晶質シリカ: エームズ試験において変異原性でない。 |
| 発がん性 | 製品自体についてのデータはない。 合成非晶質シリカ: 複数の動物種において、非晶質シリカに対する反復経口暴露後にも反復吸入暴露後にも、発がん性の証拠は認められなかった。同様に、疫学調査からも、非晶質シリカを製造する労働者における発がん性の証拠は示されなかった。 |
| 生殖および発生毒性: | 製品自体についてのデータはない。 合成非晶質シリカ: 動物毒性研究において、生殖器官または胎児発生に対する影響は報告されていない。 |
| STOT - 単回暴露: | 製品自体についてのデータはない。 |
| STOT - 反復暴露: | 製品自体についてのデータはない。 合成非晶質シリカ: 反復投与毒性: 経口(ラット)、2週間~6か月、食餌中最高8% シリカまでの投与量において処置に関連した著しい悪影響は認められず。 反復投与毒性: 吸入(ラット)、13週、肺における軽度の可逆的影響に基づき最小影響濃度 (LOEL) = 1.3 mg/m ³ 。 反復投与毒性: 吸入(ラット)、90日、肺における可逆的影響および鼻腔における影響に基づき LOEL = 1 mg/m ³ 。 利用可能なデータに基づき、STOT-RE 分類は正当化されない。 |
| 吸引性呼吸器有害性: | 産業的経験および利用可能なデータに基づき、吸引性呼吸器有害性は予想されない。 |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------------|---|
| 水生毒性: | 魚類(ゼブラフィッシュ (Brachydanio rerio)) LC50(96時間): >10,000 mg/l ; (方法: OECD 203) >1000 から 10,000 mg/L の範囲で EL および EL ₅₀ の経皮急性毒性はない (OECD 202) |
| 環境運命 残留性・分解性 | 生物分解性の測定方法は無機物質には適用できない。 |
| 生物蓄積 | 物質の物理化学的特性により予想されない。 |
| 移動性: | 移動するとは予想されない。 |
| 環境区画への分散: | 情報なし。 |
| その他の有害影響: | 情報なし。 |

13. 廃棄上の注意

免責事項：この項目に記載されている情報は、このSDSの項目3に記載の意図された状態で出荷された製品に関するものです。汚染または加工処理により、廃棄物の特性および要件が変化する可能性があります。規則は空容器、内張、すすぎ液にも適用されることがあります。都道府県および地方の規則が国の規則と異なっている場合があります。廃棄物を生成する者は、廃棄物の適切な分類を決定しなければならない

未使用および汚染されていない製品： 当製品は、適切な国家、州、地区の機関による法規に従い、廃棄してください。容器及び包装に留意してください。

14. 輸送上の注意

日本規則

船舶安全法 規制されていない

DOT

| | |
|----------|----------|
| UN/ID番号 | 規制されていない |
| 正式輸送品目名 | 規制されていない |
| 危険有害性クラス | 規制されていない |
| 容器等級 | 規制されていない |

ICAO(航空輸送)

| | |
|----------|----------|
| UN/ID番号 | 規制されていない |
| 正式輸送品目名 | 規制されていない |
| 危険有害性クラス | 規制されていない |
| 容器等級 | 規制されていない |

IATA

| | |
|----------|----------|
| UN/ID番号 | 規制されていない |
| 正式輸送品目名 | 規制されていない |
| 危険有害性クラス | 規制されていない |
| 容器等級 | 規制されていない |

IMDG

| | |
|----------|----------|
| UN/ID番号 | 規制されていない |
| 正式輸送品目名 | 規制されていない |
| 危険有害性クラス | 規制されていない |
| 容器等級 | 規制されていない |

RID

| | |
|----------|----------|
| UN/ID番号 | 規制されていない |
| 正式輸送品目名 | 規制されていない |
| 危険有害性クラス | 規制されていない |
| 容器等級 | 規制されていない |

ADR

| | |
|----------|----------|
| UN/ID番号 | 規制されていない |
| 正式輸送品目名 | 規制されていない |
| 危険有害性クラス | 規制されていない |
| 容器等級 | 規制されていない |

15. 適用法令

日本規則

労働安全衛生法(ISHL)届出物質：合成非晶質シリカは、労働安全衛生法第57条の2に関し、労働安全衛生法施行令別表第9に危険有害性物質として記載されていない。別表第9第312号「シリカ」は基発0803第6号(2017年8月3日)により削除されている。

国際インベントリー

| | |
|--|-------|
| TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー | 適合する |
| DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト | 適合する |
| EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト | 適合する |
| ENCS - 日本の化審法の既存・新規化学物質 | 適合する |
| IECSC - 中国現有化学物質名録 | 適合する |
| KECL - 韓国既存化学物質目録 | 適合しない |
| PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー | 適合する |
| AICS - オーストラリア既存化学物質インベントリー | 適合する |
| NZIOc - ニュージーランド化学物質インベントリー | 適合しない |
| TCSI - 台湾化学物質インベントリー | 適合する |

16. その他の情報

医薬品用途：

許可されていない

参照：

NIOSH 化学的危険有害性ポケットガイド、2005年9月版。「シリカ、非晶質」。DHHS (NIOSH) Publication No. 2005-149. National Technical Information Service, Springfield, VA. p. 277

地域連絡先

キャボットコーポレーション
157 Concord Road
Billerica, MA
01821
UNITED STATES
米国マサチューセッツ州ビレリカ市コン
コルドロード157、
01821
Tel:
1-978-663-3455
Fax:
1-978-670-6955

Cabot Corporation
700 E. U. S. Highway
36
Tuscola, IL
61953-9643
アメリカ合衆国
Tel: 1-217-253-3370
Fax:
1-217-253-5530

Cabot GmbH
Kronenstrasse 2
79618 Rheinfelden
ドイツ
Tel (+49) 7623.707.0
Fax: (+49) 7623.707.53

キャボットコーポレーション 3603
South Saginaw
Road Midland, MI
48640 UNITED
STATES Tel:
1-989-495-0030
Fax:
1-989-495-0094

330319中国江西省永
修県九江市星火工業
園
Cabot Bluestar
Ltd.
Tel: (86-792)
3171616
Fax: (86-792)
3170320

キャボットカーボン(株)Sully Moors
Road Sully, Glamorgan CF64 5RP Wales,
UNITED KINGDOM 英国 ウェールズ、グラモ
ーガン、サリー、サリーモアロード、
CF64 5XP、Tel: (+44) 1446.736999
Fax: (+44) 1446.737123

免責事項：

記載されている情報は、Cabot Corporationが正確であると考えられる情報に基づくものです。明示的、黙示的にかかわらず、その内容を保証することを目的としたものではありません。この情報は、単に情報および検討資料として提供

製品コード： TGC191

製品名： CAB-O-SIL™ TGC-191 Colloidal Silica 改訂日： 12-6-2018

されるものであり、その使用および信頼性に関してCabotは一切の法的責任を負わないものとします。英語以外の文書と、それに対応する英語版の該当部分との間に相違がある場合には、英語版が優先されるものとします。

作成者： Cabot Corporation—安全衛生環境部門
改訂日： 12-6-2018

®または™記号が付与されている全ての名称は、キャボット社およびその関連会社の商標です。 .

安全データシートの終端